

(注)「コモロ連合月報」は、新聞報道等をまとめたものであり、当館として事実関係を確認したものではありません。記事中にコモロ政府の公式見解と異なる内容が含まれる場合もあるため、予めご留意願います。なお、各記事冒頭の日付は、報道された日付となっています。

コモロ連合月報（2025年3月）

《要点》

【内政】

●3日 コモロ Al Watwan 紙によれば、1日、最高裁判所が地方議会選挙（2月16日実施）の最終結果を発表。全54選挙区のうち52の選挙区で、与党 CRC（La Convention pour le Renouveau des Comores：コモロ再生会議）党が最多議席を獲得。

【外政】

●10日 コモロ Al Watan 紙によれば、7日、中国が、マラリア対策用機材と医薬品を保健省に寄贈した。郭志軍（Guo Zhijun）中国大使は、「中国はこれまでに16の医療チームをコモロに派遣し、172人の中国人医師を派遣している。彼らはコモロの人々の痛みを和らげ、コモロ人医師の能力向上に努めている」と説明し、自国の専門家がコモロ側と協力して、コモロにおけるマラリアを一日も早く撲滅できることを望んでいると述べた。

●10日 コモロ Al Watan 紙は、マダガスカルが、マダガスカルへの渡航を希望するコモロ船に対する渡航禁止措置の解除を発表した。これを受けて、コモロ外務省は、「マダガスカル政府がコモロ政府の提案に同意し、両国間の海上国境の再開に合意したことは喜ばしい」とし、両国にとって有益な航空路線の回復に向けて協力していく用意があるとも述べた。

●14日 コモロ各紙によれば、スーエフ・モハメド・エル・アミン（Souef Mohamed El-Amine）元コモロ外務大臣が、マハムード・アリ・ユスフ（Mahamoud Ali Yousseuf）アフリカ連合委員会新委員長の首席補佐官に任命された。

【社会】

●13日 同日付コモロ Al-Fajr 紙によれば、エコノミスト・インテリジェンス・ユニット（EIU）が毎年発表している「世界で最も民主的な国と最も非民主的な国」の2024年版において、コモロは124位（167の国・地域を対象）にランクインし、「専制的な体制」のカテゴリーに分類された。

1 内政

3日 コモロ Al Watwan 紙によれば、1日、最高裁判所が地方議会選挙（2月16日実施）の最終結果を発表。全54選挙区のうち52の選挙区で、与党 CRC（La Convention pour le Renouveau des Comores：コモロ再生会議）党が最多議席を獲得。

14日 コモロ Al Watan 紙によれば、13日、モロニ市新市議会議員35名による初の市議会において、モハメド・アハメド・アスマニ氏（与党 CRC 党）が、現職市長のモハ

メド・アブドゥルファタ・サイード氏を 21 票対 14 票で破り、市長に選出された（当館注：コモロにおいて、市長（及び副市長）は、地方議会のメンバーの中から、独立国家選挙委員会（CENI：Commission Electorale Nationale Indépendante）の監督の下で、単純多数決票による秘密投票において選出される。）。

24 日 コモロ La Gazette 紙によれば、2 月 16 日の地方選挙後、2025 年 3 月 15 日までに（すべての市において）市長及び副市長を選出するプロセスが終了した。独立国家選挙委員会のプレスリリースによると、54 人の新市長が就任し、3 月 22 日から職務に就いている。

2 外政

10 日 コモロ Al Watan 紙によれば、7 日、中国が、マラリア対策用機材と医薬品を保健省に寄贈した。郭志軍（Guo Zhijun）中国大使は、「中国はこれまでに 16 の医療チームをコモロに派遣し、172 人の中国人医師を派遣している。彼らはコモロの人々の痛みを和らげ、コモロ人医師の能力向上に努めている」と説明し、自国の専門家がコモロ側と協力して、コモロにおけるマラリアを一日も早く撲滅できることを望んでいると述べた。

10 日 コモロ Al Watan 紙は、マダガスカルが、マダガスカルへの渡航を希望するコモロ船に対する渡航禁止措置の解除を発表した。これを受けて、コモロ外務省は、「マダガスカル政府がコモロ政府の提案に同意し、両国間の海上国境の再開に合意したことは喜ばしい」とし、両国にとって有益な航空路線の回復に向けて協力していく用意があるとも述べた。

14 日 コモロ各紙によれば、スーエフ・モハメド・エル・アミン（Souef Mohamed El-Amine）元コモロ外務大臣が、マハムード・アリ・ユスフ（Mahamoud Ali Youssouf）アフリカ連合委員会新委員長の首席補佐官に任命された。

15 日 コモロ各紙によれば、「両国間の法的措置と外交的交流により、マダガスカルとコモロの当局は相互の合意に基づき、本日（3 月 14 日）これらの金塊をマダガスカルに送還することが可能となった」と、良好な隣国関係を示す共同コミュニケ声明を发出。

17 日 コモロ各紙によれば、コモロ政府は、マイヨット北部に新たな軍事基地を建設するとするフランスの計画を、「長年の領土問題の解決に向けた対話を維持することを目的として、両国間で常に優先されてきた精神に「反する」ものである」として批判した。

21 日 コモロ Al Watan 紙によれば、13 日の閣議において、ムバエ（MBAE MOHAMED）外務・国際協力大臣（アラブ世界・ディアスポラ・フランコフォニー・アフリカ統合担当）大臣は、アザリ大統領が、24 日にマダガスカルで開催されるインド洋委員会首脳会合に参加する旨述べた。

26 日 コモロ Al Watan 紙によれば、シャトルジット・シン（Shatrujeet Singh）司令官率いるインド海軍が、3 日間のコモロ滞在中に、海上安全訓練を実施した。23 日に開催された式典において、同司令官は、コモロ沿岸警備隊との協力強化を望むとのインド海軍

の意向を表明した。

3 経済

特記事項なし。

4 社会

13日 同日付コモロAl-Fajr紙によれば、エコノミスト・インテリジェンス・ユニット（EIU）が毎年発表している「世界で最も民主的な国と最も非民主的な国」の2024年版において、コモロは124位（167の国・地域を対象）にランクインし、「専制的な体制」のカテゴリーに分類された。

（了）